



6月を迎え、街中の水辺では夕暮れからホタルの幻想的な光が瞬いています。

先日、ある会報に「私の趣味」という寄稿依頼をいただきました。改めて考えてみると、最近毎日忙しく趣味らしいことを楽しむ暇もないことに気づきましたが、

市長である私にとっては三島をさらに元気に楽しい街するための様々な事業を打ち出し成功するよう努めることが、ある意味、趣味といえるでしょう。経済や地方自治関連など様々な情報誌にできる限り目を通しては、ヒントとなる記事を見つけて情報を担当部署と共有し、何か市政に取り入れられないかとアイデアを探る作業は、仕事でありながら心身共にリフレッシュする楽しい時間です。そのような中から、「ガーデンシティ」や「スマートウエルネス」の取組みなど独自性のある施策を展開することができ、お陰様で「三島は元気なまち」と言われるようになってきました。

例えば「ガーデンシティ」は、ゴミだらけになってさびれた街に花を植えたことで、世界中から見学者が押し寄せるほど美しい街に生まれ変わったという海外のある成功事例がたいへん参考になりました。「花を植える」という一つの取組みが景観の美しさだけでなく活動を通して住民同士の連帯を生み、自分たちの街への誇りと愛着を強めさらに街に磨きをかけるという意識の好循環をもたらしたことが、驚きと共に私の心に深く刻まれました。

三島市長となり、まず象徴として電線類の地中化が進む大通りの花飾り事業に取り組みましたが、商店街をはじめボランティアの皆さんによる活動のお陰で大きな予算を掛けることなく（年間1870万円）明るい通りが出来上がり、水と緑に花を加えた美しい街並みが呼び水となって大勢の市民や観光客が三島の街を訪れて、にぎわいが生まれました。戦略的な広報活動も功を奏し、各方面から三島市が注目されるようになり駅前開発事業や工業団地の企業誘致に首都圏の事業者までもが名乗りを上げてくれたことは、長年にわたり誘致に取り組んできた者にとっても大きな喜びです。今後は工業団地の操業開始、三島駅南口東西街区の開発が進むことで、雇用の拡大と都市的魅力が一気に増すものと考えています。

また、「ガーデンシティ」の活動が市内各地に広がり、町内会や企業などで多くの花壇が作られるようになっていきます。こうした活動を通して地域のきずなが強くなると同時に、「水と緑の課」を窓口とした協働の経験が役所との距離を縮め、地域と行政とのきずなもますます太く強くなり市民の皆さんの安心・安全な暮らしを支える大きな力ともなっています。

市長として、これからも元気でワクワクするような楽しい「まち」が出来上がるよう、市民・団体の皆様と協働して努力してまいります。

三島市長 豊岡 武士

トピックス みしま

◇三島ホテルまつり 6月2日(土)、9日(土)

駅から5分街中でホテルに出逢える「ホテルのまち・三島」。
2日にわたり、各所でイベントが開催されます。ホテルの
幻想的な光と水辺の優美な雰囲気をお楽しみください。



【2日】

一番町ホテルまつり(三島商工会議所1階) 午後3時～8時30分

ホテル放萤、フードコート、子どもシャギリ演奏 など

リバーサイドほたる by 芝町(白滝公園) 午後4時～8時

味の匠市、飲食物販売、お子様無料お楽しみプレゼント

【9日】

三島ホテルまつり(楽寿園、源兵衛川) 午後1時～8時

イベントショー、模擬店、ホテルの放流 など

リメンバー六反田(広小路笑栄通) 午後5時30分～8時45分

ワゴンセール、ちびっ子クジ、ステージショー、金魚すくい

◇自主防災組織リーダー研修会

6月19日から、市内の小中学校8つの体育館を会場として各地域の自主防災組織のリーダーの皆様(女性1名以上を含む4名程度)にご参加いただき研修会を開催します。今年は、災害が夜間に発生したと想定し、「夜間の避難所開設訓練」を実施します。三島市防災指導員による、停電を想定した発電機や投光器を使用した入室訓練など暗い中で行う臨場感ある研修です。各自主防災本部と避難所との連絡手段となる簡易無線の通信訓練も実施します。

◇プロと一緒に料理～プロから教わる野菜とお米の話

6月の食育月間にあわせて、市内の食育認定店2店とJA三島函南の協働による初めての事業。料理のプロ・お米のプロ・野菜のプロから、三島の美味しい野菜をたっぷり使った料理とその料理にあうご飯について話を聞き体験(調理)する講座です。フライパン一つで家庭でも簡単に実践できる料理をご紹介します。三島だからこそのおいしい食事を実感し、地産地消と地域活性化を推進しましょう。

と き : 6月24日(日) 午前10時～

と ころ : 三島市保健センター 東館2階 栄養指導室

参 加 : 500円 市内在住・在勤・在学の18～45歳20名(抽選)

申込み : 6月14日(木)まで 健康づくり課 電話 973-3700

はこねはちり

「箱根八里」が日本遺産に認定!

日本遺産は、文化庁が2015年度に創設した制度です。地域に点在する有形無形の文化財をパッケージ化し日本の文化・伝統を語るストーリーを認定することで、歴史的魅力にあふれた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し世界に向けて戦略的に発信することにより地域の活性化を図ります。このたび認定された「箱根八里」は、三島市、函南町、箱根町および小田原市で構成される箱根八里街道観光推進協議会(会長:三島市長)が、箱根八里の魅力を広く内外へ発信して交流促進による地域の一層の活性化につなげようと申請し、日本遺産審査委員会による審査を経て、静岡県で初めて認定されました。

【認定されたタイトルおよびストーリーの概要】

旅人たちの足跡残る悠久の石畳道

～箱根八里で迎える遥かな江戸の旅路～

『天下の険』と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道箱根八里。江戸時代の大幹線であった箱根八里には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれました。西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使や長崎奉行など歴史に名を残す旅人たちの足跡残る街道をひととき迎れば、宿場町や茶屋、関所や並木、一里塚と、道沿いに次々と往時のままの情景が立ち現れてきて、訪れる者を江戸の旅へと誘います。



三島市長

〒411-0035 三島市大宮町2-14-20

豊岡たけし後援会事務所

TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159

E-mail: toyotake@mail.wbs.ne.jp

ホームページ

<http://www.toyooka-takeshi.jp/>